

## 施策評価調書(24年度実績)

施策コード I-9-(2)

政策体系	施策名	感染症・伝染病対策の確立	所管部局名	福祉保健部、農林水産部、生活環境部	長期総合計画頁	73
	政策名	危機管理の強化	関係部局名	福祉保健部、農林水産部、生活環境部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	感染症対策(健康危機管理)の推進	家畜伝染病対策の強化	生活環境対策

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		24年度			25年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	抗インフルエンザウイルス薬の備蓄率(%)	①	21	45	45.0	45.0	100.0%	45.0	45.0					

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	達成 国は「新型インフルエンザ対策行動計画(平成21年2月改定)」において抗インフルエンザウイルス薬の備蓄目標を国民の45%としており、これに基づき、県民の45%以上となる約55万人分の抗インフルエンザウイルス薬を県内に確保できている。	達成

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・保健衛生災害時対応研修会を行い、67名が北部九州豪雨での被害の情報を共有し、災害時の公衆衛生対策等について知識の向上を図った。
②	・家畜伝染病防疫対策チーム(B-SAT)を中心に防疫演習や作業手順の検討を定期的実施し、万一の発生に備えた。
③	・生体検査での口蹄疫早期発見体制の強化。 ・簡易キットによる鳥インフルエンザの即時検査体制の確立。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	健康危機管理対策推進事業	3,378	継続	88
②	家畜伝染病緊急防疫体制整備事業	—	継続	162
	県産粗飼料流通拡大事業	7,579	継続	164
	獣医師確保対策事業	5,273	継続	163

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県結核医療連絡協議会(H24.7.9) ・モデル病床を有している医療機関へ、結核専門病院から専門家を派遣して指導・助言を受けられる施策が予算化され、現場としては非常にありがたい。</p>	
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期限切れとなる抗インフルエンザウイルス薬の更新を行う。</li> <li>・結核やエイズ等を含めた幅広い感染症対策を推進する。</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い策定する県行動計画に基づき、新型インフルエンザ等対策に必要な体制の整備を図る。</li> <li>・引き続き家畜伝染病に対する防疫体制を強化し、万一の発生に備えるとともに、演習や検討を行い万全の準備を行う。</li> <li>・と畜場が閉鎖となる事態を避けるため、感染動物を早期に発見するための検査体制の整備を行っていく。</li> </ul>